

平成30年度 第1回 岡山県道路交通渋滞対策部会 議事録	
日時：平成30年10月5日（金） 14：00～15：00	
場所：岡山国道事務所3階会議室	
出席者 配布資料	添付のとおり
要旨	<p>(1) 渋滞部会の概要</p> <p>(2) 主要渋滞箇所の対応状況</p> <p>(3) 平成30年7月豪雨時の交通状況</p> <p>(4) 観光地における渋滞対策</p> <p>(5) その他渋滞対策（ファジアーノプロジェクト）</p>
事務局	主要渋滞箇所の対応状況について説明。
岡山県	国道2号の古新田交差点付近は交通量も多く、ピンポイント渋滞対策だけでは効果に限界がある。現在の道路形態にとらわれず抜本的な対策も検討すべき。
岡山市	<p>渋滞緩和に向け路線バスが重要だと考えている。路線バスの定時性を確保すれば需要が高まると期待している。そこで路線バスが通行している渋滞箇所の優先度を上げ、局部的な改良に努めたい。</p> <p>局部改良と同時に、抜本的な対策を検討することも重要であると考えている。</p> <p>国道53号や180号についても同様に渋滞解消の対策が必要である。岡山市も協力していくので、国も対策を検討すべき。</p>
	吉備スマートインターを活用した社会実験を10月7日（日）から11月末まで行う予定である。社会実験の効果検証を行い、今後の渋滞対策に向けて課題を整理していきたい。
事務局	「佐方交差点」の特定解除について提案を行った。
会長	主要渋滞箇所の「佐方交差点」については、異論がないため、特定解除とする。
事務局	平成30年7月豪雨時の交通状況について説明。
岡山県	<p>平成30年7月豪雨の際、岡山県内でも高速道路や直轄国道など多くの箇所が通行止めとなり、道路交通が完全に麻痺し、店舗から商品がなくなるなど今までにない被害状況であった。</p> <p>特に国道2号は平時でも渋滞が激しいが、山陽道の通行止め期間は支援物資の輸送車両やボランティア車両の流入など更に激しく渋滞しており、災害時の物流の確保など、道路が果たす役割やリダンダンシーの重要性を再認識した。</p> <p>更なる渋滞対策がなされていれば、今回の様な災害でも状況が少し違ったと考えており、渋滞対策とは、平時のみならず有事の備えになるのでは、と再認識した。</p>